

～平成29年度事業報告書～

平成29年度は、4月1日から施行となった新定款に基づき、組織の強化を図ってまいりました。

また、年々減少傾向にある会員の加入強化の取り組みを行い、賛助会員については26社に新たに加入していただくことができました。

新規事業としては、大規模な自然災害における災害ボランティア活動に対応するため、災害救援ボランティア講座を開催しました。

なお、社協の基本理念である「みんなの手で誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け、地区福祉協議会をはじめとする地域の各種団体及び関係機関との連携・協働を図り、次の事業に取り組みました。

(事業概要)

I. 地域で自立生活できる支援づくり

1. 総合相談システムの充実

(1) 専門分野の相談事業

日常生活における町民の相談に対し、民生委員児童委員や介護支援専門員、社会福祉士等の専門職による相談体制の充実を図り、「心配ごと相談」、「日常生活自立支援事業」、「介護相談」を実施しました。

①心配ごと相談

- 民生委員による心配ごと相談を月2回実施しました。

相談件数：0件

- 社協で開設している「福祉と暮らしの相談窓口」では、住民の生活や福祉についてのアドバイスや情報提供を行うとともに、必要に応じて専門の機関につなげました。

相談件数：45件

ボランティア相談：8件	生活福祉相談：2件
金品寄託相談：7件	福祉学習相談：1件
その他：27件	

②介護相談

町からの受託事業である地域包括支援センターにおいて、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師による介護予防や総合相談支援など利用者のニーズを把握した事業を展開しました。

- ・総合相談：延べ3, 130件

●地域包括支援センターの業務実績

◎職員：4名

〔主任介護支援専門員：2名（常勤1名、非常勤職員1名）
社会福祉士：1名（常勤） 保健師：1名（常勤）〕

◎権利擁護業務：延べ39件

（虐待ケース：延べ12件 成年後見制度等への連携：延べ27件）

◎包括的、継続的ケアマネジメント支援業務：延べ63件

◎介護予防マネジメント業務

〔要支援認定件数：150件
マネジメント件数：延べ1, 127件〕

◎包括ケア会議：11回開催

◎広報・啓発活動

- ・認知症サポート養成講座
- ・寸劇を通してのPR活動

◎介護のつどい

開催日	場所	内容
2月24日（土）	健康福祉センター	テーマ：上手に老いるための老い支度講座 講師：老い支度クリエイター 石黒 秀喜 氏 参加者：57名

2. 地域で生活するためのサービスの提供

(1) 紙おむつ・尿とりパット給付事業

低所得世帯の在宅で寝たきりになっている高齢者等を対象に、紙オムツ、尿とりパットを給付しました。

登録者数：5名

配布回数：延べ12回

(2) 移送サービス事業

一般の交通機関を利用することが困難な高齢者や障がいのある方の外出時の利便を図るため、リフト付車両3台により送迎を実施しました。

実利用者数：12名～22名/月

稼働回数：延べ364回

(3) 給食サービス事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、ボランティアグループ「ふきのとう老人お楽しみ会」の協力を得て、月2回バランスのとれた食事を提供し、安否確認を行うとともに、孤独感を和らげるため実施しました。

実施回数：21回

実利用者数：10名～17名/月

食数：延べ292食

(4) 配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯を対象に、調理済みの食事（夕食）を提供し、安否確認や健康の保持、孤独感を和らげるため実施しました。

実利用者数：21名～29名/月

配食数：延べ3,232食

(5) 理容・美容サービス事業

寝たきりの高齢者の方や理容店・美容院の利用が困難な障がい者を対象に、町の理容組合・美容組合の協力を得て、自宅に出張して散髪を実施しました。

登録者数：2名

利用回数：延べ2回

(6) ひとり暮らし高齢者防火指導事業

75歳以上のひとり暮らし高齢者の安否と火災予防の啓発を兼ねて、小田原消防本部足柄消防署とともに、電気回線やガス回り、消火器の点検等を行い、日々の安心な暮らしができるよう防火指導を実施しました。

開催日	場所	内容
11月30日(木)	向原地区のひとり暮らし高齢者宅(希望者)	実施者数：26名 消火器の未設置及び期限切れが10件

(7) 見守りネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者等を地域全体で見守っていくため、介護・福祉・医療・行政機関だけでなく、各団体や商店、金融機関等へポスターやチラシを置かせていただくなど呼びかけを実施しました。

(8) レスパイトサービス事業

障がい児者が、施設や学校の長期休暇中にレスパイト事業を実施している団体（まるやまわかくさの会）に対して、事業への支援を実施しました。

開催日	場所	内容
7月27日(木)	東海大学海洋科学博物館・自然史博物館	障がい児者：8名参加

3. 福祉サービス利用支援と質の向上

(1) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない高齢者や障がいのある方に対し、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用援助などを実施しました。

●契約締結審査会（上郡5町の社協で共同設置）

開催回数：6回

利用者数：6名

身体障害者：2名	知的障害者：1名
精神障害者：2名	認知症高齢者：1名

(2) 第三者委員による苦情解決窓口

案件がないため、会議等は開催しませんでした。

II. 共に支え合う社会づくり

1. 地区社協活動の支援

(1) 地区社協活動の支援

地区（住民）福祉協議会（町内8地区）へ助成金を配分し、活動を支援しました。

●地区福祉協議会助成金 2,300,000円

助成金の内訳：町 1,700,000円、社協 600,000円
人口比、会費徴収比により各地区の配分額を決定
在宅支援活動費として、1地区 35,000円を助成

(2) 地区社協の活動の広報

山北町健康福祉センター西側通路に、地区（住民）福祉協議会の福祉活動の広報掲載ができるコーナーを設け、町民の皆さんの目にとまるようにしました。また、山北町社協ホームページにも、地区（住民）福祉協議会の広報を掲載しました。

2. 小地域福祉活動の充実

(1) 小地域サロン活動への支援

小地域サロン実施団体へ助成金を交付し、活動を支援しました。

交付団体：6団体

交付金額：152,000円

(2) 福祉講演会等の開催

●足柄上地区社協連絡会・西湘地区社協連絡会の共催で、役員合同研修会を開催しました。

開催日	場所	内容
12月1日(金)	開成町福祉会館	テーマ: 成年後見制度の基礎知識と今後に向けた社協の役割 講演: 成年後見制度の基礎知識 みなと横浜法律事務所 内嶋 順一 氏 参加者: 15名(山北町社協役員)

●足柄上地区社協連絡会主催で、地域福祉実践交流会を開催しました。

開催日	場所	内容
1月10日(木)	開成町福祉会館	テーマ: 地域における生活支援活動の役割 ～地域における支えあい、生活支援活動のポイントを学ぶ～ 基調講演: NPO 法人よこはま地域福祉研究センター 佐塚 玲子 氏 報告者: ささえあい 久野・ひまわりの会 久保寺 征一 氏 おたがいさまネット岡本 長山 誠一 氏 参加者: 11名(山北町)

3. 福祉団体の支援

(1) 福祉団体への適切な助成金交付

町内にある各福祉団体の福祉活動事業に対し、助成金を交付しました。

団体名	会員数	助成金
山北町老人クラブ連合会	425名	250,000円
山北町母子・父子会やまぶき	9名	50,000円
まるやまわかくさの会	7名	30,000円
足柄上郡手をつなぐ育成会山北支部	4名	30,000円
NPO法人KOMNY地域作業所やまなみ工芸	—	30,000円
ともしびショップさくら	—	200,000円

(2) 福祉団体活動の活性化を促す協働事業

①世代間交流事業

●カローリング大会(老人クラブ連合会・一般社団法人「あすぽ」共催)

高齢者と子どものふれあいを目的として開催しました。

開催日	場所	内容
2月18日(日)	健康福祉センター	カローリング、(お昼は七草粥) 参加者: 55名

●収穫祭〔ミニトマト・いも掘り〕（老人クラブ連合会の協力）

老人クラブ園芸部により、「生きがい農園」で栽培された、さつまいもやミニトマトを、やまきたこども園の園児に収穫してもらいました。

開催日	場所	内容
7月11日（火）	生きがい農園	ミニトマト収穫（参加者：22名）
8月 1日（火）	生きがい農園	ミニトマト収穫（参加者：30名）
10月30日（月）	生きがい農園	さつまいも収穫（参加者：65名）

②ともしびショップ「さくら」の支援

健康福祉センターに職員を常駐し、運営等支援を行いました。

③やまぶき学級

「健康で明るく生きがいをもって高齢社会を生きる」ことを目的として、町福祉課、生涯学習課との共催で開催しました。

開催日	場所	内容
10月 4日（水）	生涯学習センター	開講式 講演～認知症を知ること～ 社会教育指導員 加藤 陽一郎 氏
10月13日（金）	生涯学習センター	実技・講話 ～心の健康対策事業「しなやかな心と体づくりのための健康体操」～ 神奈川健康財団健康運動指導士 高垣 茂子 氏
10月20日（金）	生涯学習センター	講話 ～弁護士による出張セミナー「終活について」～ 神奈川県弁護士会 畑中 優宏 氏
11月 2日（木）	川越市立博物館 川越まつり会館・蔵の街	バスを利用した施設見学
11月10日（金）	生涯学習センター	大道芸・講話 ～「笑い与健康」大道芸で笑って健康に！ユーモアセラピー～ 大道芸人「たっきゅうさん」 閉講式

※参加者人数：73名（延べ327名）

④民生委員・児童委員活動との協働

月に1回行われる定例の民生委員・児童委員連絡協議会へ必要時に出席し、活動の協働を図りました。

4. 福祉人材の育成と確保

(1) ボランティアの発掘と登録

町内のボランティア団体の活動について、町社協広報紙（社協やまきた）に掲載するとともに、ボランティア活動への参加を呼びかけました。

5. ボランティアセンターの充実

(1) ボランティアセンターの機能強化

9都県市合同防災訓練のボランティアセンター立ち上げ運営訓練に参加し、運営に係る社協、関連機関等の連携の在り方について検証を行い、連携協力体制を確認しました。

開催日	場所	内容
9月1日（金）	酒匂川スポーツ広場	参加者：5名（社協職員）

(2) ボランティア活動保険への加入促進

町内在住のボランティアに対し、保険料と同等額を助成して、ボランティア保険の加入手続きを行いました。

加入者数：368名 助成額：64,340円

(3) ボランティア団体活動補助金の適切な交付

町社協へ登録しているボランティアグループの活動に対し、助成を行いました。

- ◆ボランティア連絡協議会助成 190,000円
- ◆ボランティアグループ助成（7グループ） 317,800円

(4) 災害時における救援ボランティアの体制整備

災害ボランティアの基本的な役割や被災地の状況、災害時のボランティアの役目などについて学び、災害ボランティアグループの組織をつくることを目的に開催しました。

開催日	場所	内容
9月6日（水）	生涯学習センター	災害ボランティアの心がまえ（中越地震災害ボランティアセンターを経験して） 水林 節子 氏
9月13日（水）	生涯学習センター	激甚災害「豪雨・降雪」時の災害ボランティアセンターの立ち上げについて 小山町社会福祉協議会 原 秀人 氏
9月27日（水）	生涯学習センター	災害ボランティアグループの組織化への経緯について 中井なかまる会 城所 勲 氏 できることからはじめよう 災害ボランティア 小田原市消防職員協議会 真壁 賢一・遠山 孝志 氏

※参加者数：27名（うちボランティア登録者数 9名）

(5) 災害ボランティアセンター合同研修会

足柄上地区社協連絡会の「災害ボランティアセンター担当職員等研修会」に参加しました。

開催日	場 所	内 容
11月1日(水)	大井町保健福祉センター	BCP(事業継続計画)と災害ボランティアセンター立ち上げまでの流れについて 小山町社会福祉協議会 松田 直樹 氏 参加者:5名(社協職員)

6. 福祉教育の推進

(1) 福祉体験学習

●中学生福祉体験学習

次代を担う子供たちの福祉への理解や関心を高めることを目的とし、町内の中学生を対象に、夏休み期間を利用して、バーデンライフ中川、バーデンライフ山北、グループホームやまきた、あずみ苑山北、すずらん・アミーゴの5施設で、1日コースの施設実習を実施しました。また、体験学習を円滑に進めるため、高齢者と接するときの心構えやマナー、車椅子の操作方法や誘導方法等を学ぶ事前オリエンテーションを山北中学校にて開催しました。

開催日	場 所	参加人数
8月15日(火)	バーデンライフ山北	4名(1年:女子4名)
8月16日(水)	バーデンライフ中川	5名(3年生:女子2名、1年生:女子3名)
8月17日(木)	あずみ苑山北	2名(1年生:女子2名)
8月18日(金)	グループホームやまきた	3名(1年生:女子3名)
8月21日(月)	すずらん・アミーゴ	5名(2年生:女子5名)

町内の学校の福祉教育に協力するため、ボランティアを派遣しました。

開催日	場 所	内 容
2月26日(月)	山北中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすレクダンス矢車草の会による「車椅子講座」 ・点字グループふきのとうによる「点字講座」 ・手話サークル虹による「手話講座」 参加者:74名(3年生)3グループに分かれて体験

Ⅲ. 組織・事務局体制の整備

1. 組織体制の強化

(1) 理事会、評議員会等

① 正副会長会

理事会、評議員会が円滑に行えるよう、事前に会長、副会長、事務局で主要な会議の議案についての打ち合わせを3回開催しました。

② 理事会・評議員会・監事会

● 理事会：執行機関である理事会を4回開催しました。

開催日	会場	内容
5月22日(月)	社協会議室	議案 第1号 平成28年度事業報告について 第2号 平成28年度一般会計決算について 第3号 福祉器材・行事用器材貸出し要綱の一部改正について 第4号 評議員候補者の推薦について 第5号 評議員会の招集について 第6号 顕彰規程による顕彰者の決定について 第7号 福祉スローガンの決定について 報告 第1号 第3回山北町社会福祉大会について 第2号 県指導監査の結果について
6月14日(水)	社協会議室	議案 第1号 正副会長の互選について 第2号 部会の構成について
12月13日(水)	社協会議室	議案 第1号 平成29年度一般会計補正予算について 第2号 定款の一部改正について 第3号 嘱託職員及び非常勤職員の雇用等に関する就業規程の一部改正について 第4号 山北町地域包括支援センターの業務に携わる嘱託職員及び非常勤職員の活動及び賃金等に関する要綱の一部改正について 第5号 日常生活自立支援事業字石要綱の一部改正について 第6号 移送サービス事業実施要綱の一部改正について 第7号 評議員候補者の推薦について 第8号 評議員会の招集について 第9号 年末たすけあい募金施設適改計画について 報告 第1号 会長の職務執行状況について

3月22日(木)	社協会議室	<p>議案</p> <p>第1号 経理規程の制定について</p> <p>第2号 経理規程施行細則の一部改正について</p> <p>第3号 平成29年度一般会計補正予算について</p> <p>第4号 平成30年度事業計画について</p> <p>第5号 平成30年度一般会計予算について</p> <p>第6号 役員及び評議員の報酬等に関する規程の制定について</p> <p>第7号 顕章規程の一部改正について</p> <p>第8号 日常生活自立支援事業実施要綱の一部改正について</p> <p>第9号 山北町母子父子会やまぶきへの助成に関する規定の廃止について</p> <p>第10号 評議員の解任について</p> <p>第11号 評議員会の招集について</p> <p>報告</p> <p>第1号 県指導監査の結果について</p> <p>第2号 各部会の報告について</p>
----------	-------	---

●評議員会：議決機関である評議員会を3回開催しました。

開催日	会場	内容
6月13日(火)	社協会議室	<p>議案</p> <p>第1号 平成28年度事業報告について</p> <p>第2号 平成28年度一般会計決算について</p> <p>第3号 福祉器材・行事務器材貸出し要綱の一部改正について</p> <p>第4号 役員の選任について</p> <p>報告</p> <p>第1号 山北町社会福祉協議会顕章者の決定について</p> <p>第2号 福祉スローガンの決定について</p>
12月20日(水)	社協会議室	<p>議案</p> <p>第1号 平成29年度一般会計補正予算について</p> <p>第2号 定款の一部改正について</p> <p>第3号 嘱託職員及び非常勤職員の雇用等に関する就業規程の一部改正について</p> <p>第4号 山北町地域包括支援センターの業務に携わる嘱託職員及び非常勤職員の活動及び賃金等に関する要綱の一部改正について</p> <p>第5号 移送サービス事業実施要綱の一部改正について</p> <p>第6号 年末たすけあい募金施設配分計画について</p>

3月30日(木)	社協会議室	議案
		第1号 平成29年度一般会計補正予算について 第2号 平成30年度事業計画について 第3号 平成30年度一般会計予算について 第4号 役員及び評議員の報酬等に関する規程の制定について 第5号 理事及び監事の選任について 報告 第1号 山北町母子父子会やまぶきの解散について

●監事会：社協事業の実施状況、会計を監査する監事会を開催しました。

開催日	会場	内容
5月15日(月)	社協会議室	1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度一般会計決算書について

③理事の担当制による部会

理事会の中に3つの部会を設置し、部会ごとに研究テーマを定め、意見の集約を図りました。

●企画総務部会

開催日	研究テーマ
2月22日(木)	1. 地域福祉計画(町)と地域福祉活動計画(社協)の一体計画策定について

●事業推進部会

開催日	研究テーマ
2月23日(金)	1. 社会福祉大会について 2. 福祉バザーについて 3. 自主財源の確保について

●広報啓発部会

開催日	研究テーマ
3月 2日(金)	1. ホームページについて 2. 社協やまきたの紙面について 3. 広告料収入について 4. 部会について

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選任及び解任を行うため、委員会を4回開催しました。

2. 事務局体制の強化

(1) 職員の研修会等

県社協で行っている研修会等に、積極的に出席するとともに、足柄上地区社会福祉協議会連絡会主催の職員研修会に出席しました。

開催日	場所	内容
1月19日(金)	松田町健康福祉センター	テーマ:権利擁護事業における社協の広域的な連携を学ぶ 長野県上伊那成年後見センター 矢澤 秀樹 氏

3. 自主財源の確保

(1) 一般会費、賛助会費

賛助会員を増やすため積極的に事業所を訪問した結果、26社に新たに加入していただくことができました。

一般会員	3,235,000円
団体会員(20団体)	74,000円
賛助会員(178社)	749,000円
合計	4,058,000円

(2) 寄付金

寄付件数:36件(内、物品寄付 8件)

寄付金総額:1,317,195円

(3) 収益的事業

① 広告料

会社数:10社

広告料総額:152,000円

年間掲載回数:5回(7月、8月、10月、12月、2月号に掲載)

② 自動販売機

設置場所:山北町健康福祉センター1階&3階、ぐみの木公園

収入総額:468,010円(山北町に支払う電気代を除いた金額)

③ マッサージ機

設置場所:山北町健康福祉センターさくらの湯

収入総額:112,520円

④ 有料駐車場

有料駐車場の場所:社会福祉協議会駐車場の一部

契約台数:5台

収入総額:251,000円

(4) 福祉バザー

売上総額：129,450円

4. 広報・公聴・啓発活動の充実

(1) 広報紙「社協やまきた」

広報紙「社協やまきた」を発行（毎月1回、年間12回発行）

社協事業（地域福祉活動）の周知や実施事業の紹介と報告、福祉情報の提供等を目的として毎月1回発行し、全世帯、賛助会員、関係機関等に配布しました。

(2) ホームページ

広報紙「社協やまきた」及び各地区福祉協議会の広報紙を掲載するとともに、社協事業（地域福祉活動）の周知や、実施事業の紹介と報告などの福祉情報の提供等を行いました。

(3) 社会福祉大会

町民に社会福祉についての意識を高めてもらうことを目的として開催しました。

開催日	場所	内容
6月3日（土）	生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none">福祉スローガンの発表と表彰顕彰者の表彰（9名、1団体）山北第2及び向原地区福祉協議会の活動発表講演会 演題：子育ての喜びと感動と勇気 ～福祉と共生のまちづくりをめざして～ 講師：辻井 いつ子 氏福祉バザー

・福祉スローガン

町民の福祉に対する意識の向上を目的として、福祉スローガンの募集と選定を行い、受賞者（最優秀賞1名、優秀賞2名）については、社会福祉大会の表彰式にて表彰を行いました。

<応募件数>

小学生：137名（137編）

中学生：221名（221編）

一般：2名（3編）

合計：360名（361編）

<最優秀賞>

「思いやり かけた言葉が 心をつなぐ」

川村小学校 6年 江藤 至恩 さんの作品

5. 計画推進の管理体制の確立

(1) 第5次地域福祉活動計画策定に向けた検討

社協の「第5次地域福祉活動計画」と町の「第3期地域福祉計画」の一体計画策定に向け、町福祉課と策定スケジュール（案）や策定委員の構成（案）について検討を行いました。